

事務事業マネジメントシート(令和4年度実績と令和5年度計画)

令和5年6月14日更新

事務事業名		熊本県農業会議参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合 計画 体系	政策 施策 施策の柱	5 23 65	都市基盤の健康 計画的な土地利用の推進 計画的な市街地の形成	農業委員会 農業委員会 農地班	所属部 所属課 所属班	農業委員会 農業委員会 農地班	課長名 担当者名 (内線)	坂上 範行 竹田 直広 5232
予算科目	会計 一般	款 6	項 1	目 1	事業連番 10177	根拠 法令	農業委員会等に関する法律	
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 ～ 年度)	18	年度

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	農業会議が開催する各種会議や研修会等に積極的に参加し、農業委員会職員及び農業委員、農地利用最適化推進委員としての知識向上を図る。
【業務の流れ】	各農業委員、農地利用最適化推進委員への研修会参加依頼、研修会への同行・参加。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、旅費
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行なった主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
熊本県農業会議主催の各種研修会に参加し、職員及び委員の専門知識の向上を図った。 農業委員会運営事業へ統合	農業委員会運営事業へ統合
職員研修会(計8回出席) ・事務担当者研修会(7/21, 10/14, 2/2, 3/2) ・農地台帳システム操作研修会(8/3, 8/24) ・農地転用実務担当者研修会(12/22, 3/23)	
農業委員等研修会 ・農地利用最適化推進大会(8/31) ・農地利用最適化推進プロジェクト別研修会(2/22)	
②活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)予算の主な増減の理由
研修に参加した人数	人 農業委員会運営事業へ統合することによる事業費の減
③対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)
・農業委員会事務局職員 ・農業委員、農地利用最適化推進委員	人 農業委員会事務局職員数 人 農業委員数、農地利用最適化推進委員数
④意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)
・委員の資質向上を図る ・農業委員会業務に必要な専門知識を身につけると共に、法改正等の最新情報を入手する	% 新たな知識を身につけた委員の割合 % 新たな知識を身につけた職員の割合
*⑤成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0
農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加し、農業委員としての知識を身につけるため。	

(2)各指標・総事業費の推移			単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	人	ア	人	39	39	40	40	0	0	0	0
② 対象指標	人	ア	人	4	4	4	4	0	0	0	0
③ 成果指標	%	ア	%	100	100	100	100	0	0	0	0
		イ	%	100	100	100	100	0	0	0	0
投 資 量	国庫支出金	千円									
	都道府県支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	繰入金	千円									
	一般財源	千円	174	174	411	297					
	(A) 事業費計	千円	174	174	411	297	0	0	0	0	
	(A) のうち指定経費	千円	148	148	148	148	0	0	0	0	
	(A) のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	人	4	0	4	4	0	0	0	0	
	延べ業務時間	時間	65	0	40	65	0	0	0	0	
	費	千円	256	0	159	247	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	430	174	570	544	0	0	0	0

事務事業名	熊本県農業会議参画事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (C H E C K)

*原則は 4年度の事後評価、ただし複数年度事業は 4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した コロナの影響でWEBでの参加が可能な研修が増えた。受講方法が選べるようになったことで、より多くの委員が研修に参加することができた。			
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加する。			
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由】 每年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。			
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 類似事業あり。 令和5年度より農業委員会運営事業へ統合			
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 拠出金については、県下統一した算定方法（均等割り及び農家個数・農地面積応じた割合）により算定されており、削減は困難である。			
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 職員に限られるため、削減できない。			
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 拠出金については均等割りと残額を農家個数・農地面積で算出しており公平・公正である。			
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 農業委員としての知識を身につけるため、他での対応はできない。			

3 評価結果の総括 (C H E C K)

熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加した。毎年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) . . . 複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
- 事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
- 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

次年度より農業委員会運営事業に統合予定

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成果	向上		
	維持		
	低下		

(3) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策